

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 児童発達支援センター シャローム		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和8年1月16日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月14日		～ 令和8年2月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)	45	(回答数) 43
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種が訪問支援員となっていますので、利用児の課題やニーズに合わせた専門職を配置し訪問することができます。	訪問の前後に職員間で情報共有を行い、多角的な視点で支援を行えるよう努めています。	訪問支援員が継続して自己研鑽を積み、質の高い訪問支援を行うことができるよう取り組んでいきます。 また、保育所等訪問支援のメリットを訪問先施設に理解していただけるよう、説明周知を徹底していきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先施設に対し事業内容の説明を行っていますが、十分に理解をされていないと感じています。	保護者の要望で実施する事業のため、訪問先のニーズと一致しない部分があります。 保育所等訪問支援と他の事業の内容と混同されていると感じることがあります。	保育所等訪問支援事業についての研修会を地域の事業所や就学前施設、小学校等に案内する等、事業内容について広く周知を図ることに努めています。 アンケート結果から保育所等訪問を受け入れてくれる施設への説明が足りないことも感じられたため、周知をしっかりとする必要があります。
2			
3			